

子育てコラム28 parenting column

子育ては楽しいこともあるけど悩みもたくさん。
そんなママのための役に立つアドバイス。

「子育て今昔(その1)」

助産師になって40年以上の歳月が流れました。この40年の間にも子育ての方法や考えは随分と変わり、今なお変化しています。

昭和50年代助産師になりたての頃は、抱き癖をつけると赤ちゃんは抱っこを求めてしょっちゅう泣くようになると言われていました。そしてうつぶせ寝。寝つきも良くぐっすり眠って、頭の形が良くなり胸板も厚くなると言われ、うつぶせ寝は今から20年程前までちょっとしたブームでした。離乳食に関しては平成19年の「授乳・離乳の支援ガイド」で、考え方や開始・終了時期が随分と変わりました。昔は虫歯菌がうつるなど皆知りませんでしたので、大人が噛んで小さく軟らかくしたものを子どもに与えたり、箸やスプーンの共有なども日常茶飯事でした。

そして母乳への考えや思いも随分と変わりました。高校生の時に聞いた「賢い子に育てよう〇〇ミルク」というテレビCMのキャッチフレーズを鮮烈に記憶していて、母乳よりミルクを飲ませると賢くなるのだと本気で思ったことでした。母乳が出ていてもミルクに切り替えたという方のお声も何人か聞きましたの

で、テレビの影響力には驚かされます。昭和60年度と平成27年度の母乳育児率を比較すると、生後3カ月時点での母乳の割合は40%から55%に増えています。

子育ての変遷を知ることで、その時代の生き様や、その時代に生きてきた方の思いを少しでも共有することができます。それと同時に、どの時代でも子どもは親や周りから愛情を受けて育っていることを改めて感じます。子どもの幸せを願う大人の思いが、善きにつけ悪しきにつけその時代の子育てを変えているのでしょう。

次回から、それぞれの子育てについての変遷を、祖父母世代の思いと共にみていきたいと思えます。



子育てひろっぱ「めぐみ」代表
弘田 恵子

子育てひろっぱ「めぐみ」代表。
大阪府立母子保健総合医療センターNICUや母乳育児相談室で勤務。その後20年間高知市内のめぐみ保育園で園長を務め、4月から子育てひろっぱで、妊娠中からの悩みサポートを行う。助産師、看護師、保育士、幼稚園教諭(二種)、上級睡眠健康指導士。

